

地産地消型、自家消費型の再生可能エネルギー設備導入等を支援します。

1. 事業目的

- ① 地域循環共生圏づくりの鍵である地域の再生可能エネルギーの導入モデルを形成し、同様の課題を抱えている他の地域へ水平展開する。
- ② CO₂削減に係る費用対効果の高い自家消費型・地産地消型の再生可能エネルギーを持続的に活用する体制を構築し、将来的な自立的普及を図る。

2. 事業内容

固定価格買取制度の利用拡大が困難となる中、再生可能エネルギーの最大限の導入には、地域の自然的社会的条件に応じた導入モデルの形成と水平展開が不可欠。このため、地方公共団体等の積極的な参画・関与を通じて、再生可能エネルギー導入に伴って生じる地域課題に適切に対応する等を支援する。

- ・ 再エネ発電設備、熱利用設備の導入
- ・ 既存再エネ利用設備余剰熱を有効活用するための導管等設備の導入

※令和2年度は、継続事業のみ実施し、新規募集はしない。

3. 事業スキーム

- | | |
|--------|-------------------------------|
| ■ 事業形態 | 間接補助事業（補助率 1 / 3、1 / 2、2 / 3） |
| ■ 補助対象 | 地方公共団体、非営利団体、民間事業者・団体等 |
| ■ 実施期間 | 平成28年度～令和2年度 |

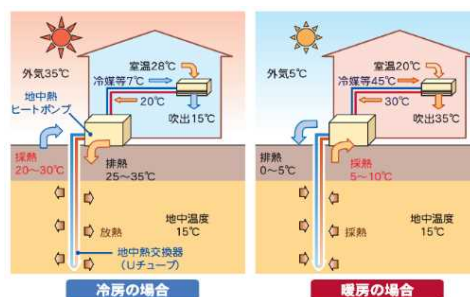
4. 活用事例

事例1：バイオマスボイラー

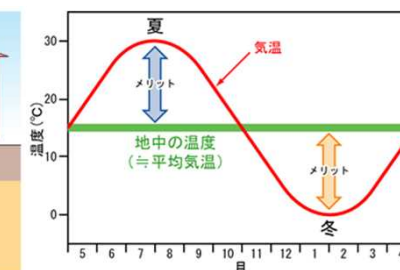


市内の遊休地・耕作放棄地で資源作物を栽培し、バイオマス燃料を確保した上で、地方公共団体が所有する温泉施設にバイオマスボイラーを導入（平成28年度事業、栃木県さくら市）

事例2：地中熱利用



地中熱の冷暖房利用イメージ



温度が安定している地中の熱を冷暖房や給湯などの熱源として利用